

第 10 回全国農産物直売サミット開催案内

～ 直売所の絆で乗り越え、日本の食と農を未来へつなごう～

東日本大震災の発生により日本の食と農が危機に立たされるなか、全国の農産物直売所は震災直後から食料供給や救援・支援の最前線として大きな役割を果たしています。また、直売活動を通じて生まれた絆による生産者間、直売所間、地域間での支援活動が進められ、各地の直売組織の有する底力が発揮されています。

千年に一度と言われる災害と原発事故を経験した日本人が、今後どのように行動し、どのように食と農の再生を進めていくかは、世界からも注目されています。そして、この日本の食と農の再生と次代への継承において大きな役割を期待されているのが、地域に根ざした活動を進める農産物直売所でもあります。

今年の全国サミットは、震災と原発事故により最も深刻な影響を受けている福島県下で開催することで、福島の生産者や直売所が抱えている困難を共有し、ともに乗り越えていく方策を検討します。また、全国の直売所の絆を活かし、互いに支え合いながら、確かな日本の食と農を未来に受け渡すという直売所の使命を再確認します。

全国農産物直売ネットワークの全国大会である「第 10 回全国農産物直売サミット」に全国の農産物直売所の皆様のご参加をお待ちしております。

日 時 平成 23 年 10 月 27 日 (木) ~ 28 日 (金)

会 場 「ホテル華の湯」(磐梯熱海温泉)

〒963-1387 福島県郡山市熱海町熱海 5-8-60 電話 024-984-2222

現地視察 下記 4 コースを予定。昼食含。解散は JR 郡山駅(各定員 50 名)

- A 中通り北コース「んめ～べ」(伊達市)「JA 新ふくしま・こころ」(福島市)「道の駅ふくしま東和」(二本松市)「道の駅安達・智恵子の里」(二本松市)「ふるさと農園」(二本松市)
- B 中通り東コース「はたけんぼ」(須賀川市)「道の駅ひらた」(平田村)「三春の里・田園生活館・かご市」(三春町)
- C 中通り南コース「はたけんぼ」(須賀川市)「道の駅たまかわ」(玉川村)「手まめ館」(鮫川村)
- D 会津・郡山コース「まんま～じゃ」(会津若松市)「いわはし館」(猪苗代町)「JA 郡山市直売所」(郡山市)

参加対象 全国の農産物直売活動の実践者、支援者の皆様

申込多数の場合は直売活動の実践者の方々を優先させていただきます。

参加定員 (1) サミット 500 名 (2) 交流会 300 名 (3) 現地視察 200 名

参加費 サミット参加のみ・・・3,000 円(参加費 3,000 円)
サミット+交流会・・・8,000 円(交流会費 5,000 円)
サミット+交流会+現地視察・11,500 円(現地視察費 3,500 円)

参加経費はすべて事前振込となります。詳しくは別添「事務連絡」をご参照下さい。

「全国農産物直売ネットワーク」会員には参加費の割引があります。

主催 全国農産物直売ネットワーク (財)都市農山漁村交流活性化機構

後援(予定) 福島県 郡山市 農林水産省 JA 全中 JA 福島中央会
福島県農業会議 全国直売所研究会 (社) 全国農業改良普及支援協会
(社) 農山漁村文化協会 (社) 全国農協観光協会 オーライ! ニッポン会議
jp. 都市農村交流推進協議会

第10回 全国農産物直売サミット プログラム (敬称略)

平成23年10月27日(木)

サミット・交流会

- 12:00 受付・開場
 13:00 開会
 主催者挨拶(財)都市農山漁村交流活性化機構 専務理事 齋藤章一
 開催県挨拶 福島県知事 佐藤雄平
 開催地挨拶 郡山市長 原正夫
 13:15 全国農産物直売ネットワーク代表挨拶 今村奈良臣
 13:30 講演(60分)
 「震災に立ち向かう。福島食と農の底力」
 東京農業大学名誉教授 小泉武夫(福島県出身)
 14:30 活動紹介(30分)
 「震災に負けない。素材を活かした商品開発」
 山際食彩工房 代表 山際博美(会津若松市)
 15:20 ディスカッション
 「復興と再生にむけて。直売所の使命と役割」
 「はたけんぼ」(須賀川市)JAあぐりすかがわ岩瀬 澤山聖美
 「道の駅ふくしま東和」(二本松市) 大野達弘
 「やくらい土産センター」(宮城県加美町)さんちゃん会 組合長 加藤重子
 「紫波ふる里センター」(岩手県紫波町)組合長 堀切真也
 コーディネーター 宇都宮大学 農学部教授 守友裕一
 16:50 ディスカッション
 「日本の食と農を支える。直売所の使命と役割」
 「三郷サラダ市」(長野県安曇野市) 組合長 三澤勇
 「クロスロードみつぎ」(広島県尾道市) 副会長 綾目文雄
 「道の駅かなん」(大阪府河南町) 駅長 阪上勝彦
 コーディネーター (特)素材広場 理事長 横田純子
 18:10 福島県からの現状報告と視察先の紹介
 18:20~ 休憩・会場移動
 19:00 全体交流会(~20:30) 県産食材を使用した郷土食の交流会

平成23年10月28日(金)

直売所視察

- 8:00~ 宿舎出発(大型バス4台)全4コース(各50名定員)
 郡山指定ホテル前経由、「ホテル華の湯」出発
 9:00 直売所視察
 11:30~ 昼食(直売施設で弁当・ビュッフェ等を用意しています)
 15:00~ JR郡山駅前解散
 ~「がんばろう!ふくしま。農産物直売所合同PRフェア」を駅前
 で開催しています。生産者との交流や買い物をお楽しみ下さい~

(注意事項)

視察順路・昼食内容・解散時間はコース毎に異なりますので、事務局の指示に従って下さい。
 車中での説明などがありますので、出来るだけ視察バスにご乗車下さい。
 地震や災害などにより直前のコース変更などが生じた場合はご容赦下さい。
 交通渋滞等による解散時刻の変更が予想されます。お帰りは余裕を持ってご予約下さい。

当日のプログラムに変更が生じた場合はご了承下さい

第10回全国農産物直売サミット 講師・直売所等のご紹介 (敬称略)

東京農業大学名誉教授

小泉 武夫

福島県田村郡小野町の酒造家に生まれる。専攻は発酵学・食文化論。農学博士。現在、東京農業大学名誉教授、鹿児島大学客員教授、琉球大学客員教授、別府大学客員教授、広島大学大学院医学研究科客員教授。その他、農林水産政策研究所客員研究員(農林水産省)、「食」に関する将来ビジョン有識者委員(農林水産省)、食料自給率向上協議会長(農林水産省)、料理人顕彰制度審査委員(農林水産省)、全国地産地消推進協議会会長など役職多数。主な著書に『いのちをはぐくむ農と食』『ニッポン快食紀行』『発酵レストラン』『食あれば楽あり』『発酵食品礼賛』『食に知恵あり』『食の墮落と日本人』『くさいはうまい』等。雑誌・新聞などの連載も多数。

山際食彩工房 代表(会津若松市)

山際 博美

県内の旅館・ホテルにおける地産地消メニュー開発や直売所等の特産品開発に携わるなど、県産産物の理解促進や地産地消の推進に貢献。「あいづのこだわり食材普及推進協議会会長」として、消費者、実需者(外食、ホテル・飲食等)を対象とした会津地方の伝統野菜等の調理法を紹介するセミナー開催や、「あいづのこだわり食材100選」の作成に尽力。生産者と加工業者、または学校給食関係者とのパイプ役も務め、地元食材を活用した料理講習会講師としても活躍。宿泊施設「ヴィライナワシロ」の調理顧問として料理講習会やセミナーを主宰するなど地産地消の推進に貢献。

「はたけんぼ」(須賀川市)

澤山 聖美

(株)ジェイエイあぐりすかがわ岩瀬の企画管理部チーフとして直売所「はたけんぼ」の店舗運営にあたる。生産者の思いを伝える「はたけんぼ新聞」の発行やブログなどによる情報発信を通じて、地場農産物の理解促進に貢献。食育指導士、健康管理士などの資格を有し、各種講演会での講師や幼稚園、保育園での食育・地産地消の理解促進に向けた活動を担う。また、地元の地産地消商品開発チームの中心者として、食品加工業者、飲食店等との連携で特産のキュウリや米などを使用した新商品やメニュー開発に携わる。農林水産省選定・地産地消の仕事人。

「道の駅ふくしま東和」(二本松市)

大野 達弘

生産者主体で地域づくり活動を進める(特)ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会の代表理事として道の駅の運営責任者を務める。また、専業農家(野菜、米等)として大規模経営を進めながら、新規就農希望者の研修受け入れなども積極的に担い、約10名の就農をサポートした。協議会では「ゆうきの里・東和宣言」を表明し、環境保全・資源循環型の農業を地域ぐるみで推進する。具体的には、桑・いちじく等特産物を活用した新商品開発、地産地消食材供給、新規就農の受け入れ、定住促進事業、里山再生事業など協議会として多角的な事業を担っている。

「やくらい土産センター」(宮城県加美町)

加藤 重子

平成6年の開設時に、おじいちゃん・おばあちゃん・おかあちゃんて協力しようと生産者の運営組織「さんちゃん会」を発足。2代目組合長に就任し、県内有数の売り上げを誇る直売所に成長させ、県知事賞や農林水産大臣賞などを受賞。地場野菜や山の幸、アイスクリーム、惣菜等の加工品が人気。14年に農事組合法人化し、現在は210名の会員が出荷する。産地直送便も実施。ほぼ毎週仙台市中心部の大手百貨店前で出張販売を行い、仙台市民の人気も定着している。また、自ら農家民宿「花袋・天王」を経営し、地域のグリーン・ツーリズム事業のまとめ役としても活躍する。農林漁家民宿おかあさん100選認定者。

「紫波ふる里センター」(岩手県紫波町) 組合長

堀切 眞也

盛岡と花巻の間に位置する果樹産地(ぶどう・りんご等)紫波町の国道沿いに平成5年に直売所を開設。約100戸の農家が組合を組織して運営する。当店の成功が近隣に波及し、現在は旧町村ごとに常設直売所が複数あるほど直売所間の競争が激しい「産直街道」と言われる地域となる。人口約3万5千人の町には9つの常設直売所が開設され、これらの連携を目的に発足した連絡協議会会長も務める。共同開発した「紫波のしわくちゃ豆」等のブランド化にも成功した。

「三郷サラダ市」(長野県安曇野市) 組合長

三澤 勇

昨年度の全国農産物直売サミットの開催地、長野県安曇野市の旧三郷村の農家組合が運営する直売所の組合長。モモ、ブドウ、リンゴなど地域特産果樹の品揃えは見事で、贈答品を求めるリピーター客が多い。併設加工施設で作るまんじゅうなどの加工品も好評。人口約9万人の市内に9つある安曇野市直売所連絡協議会会長も務め、連携した情報発信や活動を進める。また、震災直後より福島県の生産者支援を呼びかけ、4月初旬より全国に先駆けて福島野菜の応援販売を市内直売所が連携して展開する。

「クロスロードみつぎ」(広島県尾道市) 副会長

綾目 文雄

尾道市旧御調町の道の駅内にある直売所を運営する野菜市生産者組織の副会長。レストラン、バスターミナル、子ども図書館や公園などを有する複合型施設の中に位置する直売所として利用者に人気。地場野菜を中心に餅加工品や惣菜が人気商品。都市農村交流を目的とした農業体験企画も実施する。2004年より2号店も開設。震災直後より地元の中高生ボランティア等の販売協力による福島・茨城等の農産物即売会と義援金募集を企画し、毎月定期的を実施している。

「道の駅かなん」(大阪府河南町) 駅長

阪上 勝彦

「道の駅かなん」の駅長として、地元農産物の振興や加工品開発をすすめ、直売所の経営安定化に貢献。消費者を対象とした産地見学会や生産者との意見交換会等も企画・立案し、都市住民との交流を核とした地産地消を推進。毛馬胡瓜や田辺大根など「なにわの伝統野菜」を特産物として育成し、外食産業等への販路拡大にも取り組み、農業者の意欲向上に貢献してきた。学校給食への食材提供や農作業体験を進めるなど、食育活動にも積極的に取り組んでいる。震災後のゴールデンウィークに大阪でも先駆けて福島野菜の応援販売を実施。農林水産省選定・地産地消の仕事人。

コーディネーター 宇都宮大学 農学部教授

守友 裕一

北海道大学大学院農学研究科博士課程修了。北海道立総合経済研究所を経て、1983年から2004年まで約20年にわたり福島大学経済学部(助教授・教授)福島県内の地域振興や地産地消などの現場に積極的に関わってきた。2004年より宇都宮大学農学部農業経済学科教授。現在、農林水産省中山間地域等総合対策検討会委員、中山間地域フォーラム運営委員長、食農教育ネットワーク副代表。主な著書『内発的発展の道』『内発的発展と農村の再生』等多数。

コーディネーター (特) 素材広場 理事長

横田 純子

県内の生産者と旅館・ホテル等を結びつける会員制組織「素材広場」の代表として、生産現場に足を運んで食材を探し、食材情報を会の情報誌やサイト等で発信する。宿の地産地消による地元観光産業の振興を基本に、料理人と生産者の交流会、産地見学会等の開催、食材調達・仕入れの仲介や商品開発の提案を行い、生産者と宿泊事業者等を食材でつなく取組を実践。震災以降は地元の避難者を支援するプロジェクトや県外で福島全域の産物を販売するコーディネーターとして全国の直売所や自治体との調整役にあたるほか、自ら出張販売にも出向く。2011年に内閣府の「女性のチャレンジ賞特別部門賞」受賞。農林水産省選定・地産地消の仕事人。

第10回 全国農産物直売サミット 会場のご案内

ホテル華の湯 (磐梯熱海温泉)

〒963-1387 福島県郡山市熱海町熱海 5-8-60 電話 024-984-2222

<http://www.hotelhananoyu.jp/>

送迎バスのご案内 (JR磐梯熱海駅 ホテル華の湯)

当日は11:00、12:00に駅前より送迎バスが出ますので、ご利用下さい (バス約5分)。磐梯熱海駅からホテルまでは徒歩で約15分です。

「磐梯熱海駅」に停まる磐越西線は1時間に1本しかありませんのでご注意ください。ホテルに関する詳細については公式ホームページをご参照下さい。

温泉施設のためご宿泊はすべて相部屋となります。個室(シングル・ツイン)をご希望の方には別途ホテルをご案内しています(JR郡山駅前。事務連絡参照)。



○東京方面

東京駅 新幹線 75分 郡山駅 快速 14分 磐梯熱海駅 タクシー5分 ホテル華の湯

東京駅 新幹線 75分 郡山駅 タクシー30分 ホテル華の湯

○仙台方面

仙台駅 新幹線 45分 郡山駅 快速 14分 磐梯熱海駅 タクシー5分 ホテル華の湯

仙台駅 新幹線 45分 郡山駅 タクシー30分 ホテル華の湯

第10回 全国農産物直売サミット 全国事務局

(財)都市農山漁村交流活性化機構(まちむら交流きこう) プロジェクトきこう部

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町45番地 神田金子ビル5F

電話 03-4335-1983 FAX 03-5256-5211

URL:<http://www.kouryu.or.jp> E-mail:chokubai@kouryu.or.jp 東京都知事登録旅行業第2-5925号

第10回 全国農産物直売サミット 参加申込書

申込先:(株)農協観光福島支店 FAX(024)554-3569 申込日:平成23年 月 日

フリガナ		所属先・部署等
代表申込者 氏名		
電話番号		ご住所 都道府県名より記載下さい。書類の送付先となります 〒
FAX 番号		
Eメール		

下記の内容をご確認の上、参加希望をご記入下さい。受付後、回答書をFAX又はメール送信いたします。

NO	フリガナ ----- 参加者氏名	参加費 会 員	参加費 非会員	交流会	宿 泊 希望施設	現地視察 第1希望	現地視察 第2希望	磐梯熱海駅発 送迎バス	1日目 昼食弁当
		2,000円	3,000円	5,000円	下記参照	3,500円(昼食含)		無 料	1,050円
例	フクシマ ハナコ 福島花子 男・女					B	A		
1	男・女								
2	男・女								
3	男・女								
4	男・女								
5	男・女								

[1日目昼食] 1日目の昼食(弁当)を希望される方には「ホテル華の湯」で用意します(1,050円)。

[送迎バス] JR磐梯熱海駅より「ホテル華の湯」まで、無料送迎バスがあります。

送迎バス発車時間 11:00、12:00 乗車場所: JR 磐梯熱海駅前(所要5分) 徒歩では15分

[宿泊先] 「ホテル華の湯」(磐梯熱海温泉) 交流会もホテル内で行います。
原則、相部屋となりますことをご了解下さい。お部屋割りは事務局に一任願います。

料金: 8,000円(1泊朝食付・入湯税等込)

「郡山ビュー・ホテルアネックス」 } 交流会終了後バスで磐梯熱海駅までお送りしますが、
「郡山ワシントンホテル」 } 磐梯熱海駅~郡山駅間はJR利用(個人払)となります
原則、シングル又は、ツインですが、喫煙室を希望される方は備考欄に記入願います。

、 : 料金: シングル、ツイン(2名1室利用の1名様料金) 共に1人8,400円(いずれも1泊朝食付・税込)

[現地視察] A: 中通り北コース B: 中通り東コース C: 中通り南コース D: 会津・郡山コース

[個人情報] お客様との連絡、お申込の手続き等の範囲内で使用させていただきます。

備考(前泊、後泊、その他希望事項等)

受付事務局: (株)農協観光 福島支店 TEL(024)554-3575 担当者: 古市・高橋
申込締切 平成23年10月13日(木) 定員に達し次第締め切りとさせていただきますので、お早めにお申し込み下さい。

(別紙1) 第10回全国農産物直売サミットへのご参加にあたって(事務連絡)

1 参加申込方法

「参加申込書」に必要事項をご記入の上、「第10回全国農産物直売サミット・福島事務局」までFAX送信でお申込み下さい(平成23年10月13日(木)締切)。「参加申込書」は(財)都市農山漁村交流活性化機構のホームページ上からダウンロードが可能です。当サミットについては全国からどなたでもご参加が可能です。

*参加団体活動紹介書(様式1)の作成

直売活動の実践者の皆様は、1運営団体につきA4判×1枚の「参加団体活動紹介書」(様式1)をご提出下さい(FAXまたはメール送信で可)。なお、提出頂いた「活動紹介書」は事務局で整理の上、当日の資料として参加者に配布し、直売活動実践者の今後の情報交換やネットワークづくりに役立てて頂きます(公表したくない項目については無回答でも可)。「参加団体活動紹介書」は「参加申込書」とともに必ずご提出下さい。また、交流会場においてPRされたい資料・商品がある方は当日ご持参下さい。

2 受付確認・請求書の送付について

事務局において「参加申込書」を受理・確認の上、順次、お申込者様に「受付確認・請求書」を郵送致します。複数で参加される場合は代表者様に一括して送付させていただきます。ご請求に基づき、参加費等は全て事前に指定口座にお振り込み下さい。(振込手数料はお客様負担となります)

3 参加費等のお支払い方法について

請求書に基づき、合計金額を指定口座にお振り込み下さい。参加費等の内訳は次の通りです。

【参加費等】 参加費 3,000円(会員 2,000円) 1日目(27日)昼食用弁当代 1,050円 交流会費 5,000円
2日目(28日)現地視察費 3,500円(昼食代含) 宿泊代 8,000円(「ホテル華の湯」の場合)
サミット開始前の昼食(弁当)を希望される方には「ホテル華の湯」にて予約制で承ります。

4 申込内容の変更・キャンセルについて

申込内容の変更・キャンセルについては、「参加申込書」を上書き訂正の上(二重線などではっきり判るように)、修正した「参加申込書」を事務局まで必ずFAXにて再送信して下さい。お電話による申込内容の変更はご遠慮願います。なお、変更に伴うお取消料は下記の通りです。お取消に関するご返金またはご請求は、サミット終了後に対応いたします。

お申し込み内容の変更に伴うキャンセル料について

申込み時～平成23年10月25日(火)まで 無料(FAXにて変更内容の連絡)
平成23年10月26日(水)以降～当日キャンセルおよび当日不参加 100%

5 宿泊予約および料金について

10月27日(木)のご宿泊は「ホテル華の湯」に下記価格でお泊まり頂けます(1泊朝食付・税サービス料込)。なお、原則相部屋となりますので、部屋割りには事務局にご一任願います。前後泊についても、ご希望があれば、お申し込み下さい。

ホテル華の湯(磐梯熱海温泉) 宿泊料金 8,000円(1泊朝食付・入湯税等込)

〔ビジネスホテルを希望の方は〕 次のホテルを手配しますので、お申し込み下さい。

郡山ビュー・ホテルアネックス } 宿泊料金 シングル 8,400円(1泊朝食付・税込)

郡山ワシントンホテル } " ツイン 8,400円(1泊朝食付・税込)

(2名様1室利用の1名様料金)

【直売サミット受付・福島事務局】*【参加申込・お支払い・宿泊・福島までの手配等】に関するお問い合わせはこちらへ
(株)農協観光 福島支店 担当:古市・高橋 電話024-554-3575 FAX024-554-3569
〒960-0231 福島県福島市飯坂町平野字三枚長1-1

【全国農産物直売サミット・全国事務局】*【直売サミット全体】に関するお問い合わせはこちらへ

(財)都市農山漁村交流活性化機構 担当:森岡・高橋 電話03-4335-1983 FAX03-5256-5211